

国 語

注 意

1. 問題は全部で12ページである。
2. 解答用紙は(その1)(その2)がある。(その2)はマーク・シートになっている。
3. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答がイのとき)

1	●	○	△	□	☆	◇	ト
---	---	---	---	---	---	---	---

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり折り曲げたりしないこと。

一次の文章を読んで、後の問に答えよ。

一九七〇年代に入つて、高額の診断機器の発明など医療技術の進歩が急速に進み、医療費が急激に増大してきた。そのため、医療費の増大を国の経済が支えられず、放置すれば国の経済的活力を阻害するのではないかという考え方が強くなった。

当時、西ヨーロッパ諸国では経済成長の限界が見えてきたのに比べて、わが国はいまだ活力を保持しているように見えた。そこで、西ヨーロッパ諸国の経済の苦境を称して「先進国病」と言った。¹ そのことは、ある意味では理解できるものの、わが国経済への過信があつたとも言えるのではないだろうか。西ヨーロッパ諸国は、高い国民負担率を維持し、高い税金を徴収しつつもそれを国民に還元する政策を継続した。そして、国民と政府との間に税の使われ方の上でコンセンサスが^a ジョウセイされ、高いけれどもやむをえない負担として合意が形成されてきた。わが国では、国の財政からの支出が要求されることになつても、国民は税や社会保険料の負担の増額をする政府を支持しない。したがつて、政府の歳入の倍額以上の歳出をするという、とんでもないことになつてきた。果たして、どちらの国のやり方が賢明であつたのだろうか。また、果たしてどちらの方において持続的な経済の活力が維持されることになつたのだろうか。どうもわが国の経済の方が A が悪いのではなからうか。

² 医療が活性化し医療費が増大すると、必ず経済の活力が失われるということはない。むしろ、西ヨーロッパ諸国では医療費を増加させながら、日本より高い経済成長率を保っている国がいくつもある。米国の医療・健康関連産業は国の産業の一〇%を越えると言われるほど、規模が大きい成長産業であり、輸出産業だ。わが国においても、医療費の総額が増大し、それに伴つて病院で働くさまざまな職種が増えれば、病院のマンパワーが確実に充実してくる。そして、医師の過重な業務が緩和され、一方でそれだけ雇用が拡大し、国内需要が増大することに繋がるわけだ。さまざまな経済学的分析からも、医療が発展すれば、安全で安心な社会の実現に寄与するだけでなく、わが国の経済活力を伸ばす働きもする可能性が高いことがわかつている。

しかしながら、わが国においては、増大する医療費を負担するシステムが崩壊しつつあり、またその改革に向けての国民的コンセンサスの形成も遅れている。このことが一番大きな問題だ。よく言われる表現ではあるが、「負担は最低に、給付は最高に」

はありえない話だ。負担と給付のバランスは一国のあり方の基本的デザインの³問題であり、国民的なコンセンサスの形成が喫緊の課題だ。その際に、わが国では医療において富裕層と非富裕層との間で著しい格差が生まれ、個人の経済的な状態に応じて提供される医療そのもののレベルが大きく異なるというような制度が選択されるであろうか。そうは思えない。これまで、医療はだれでもが、どこにいても安心して受けられる、一種の共通社会 B として理解されてきた。その基本的な考え方が無理なく維持できる方策を、政府もまた国民も考えるべき時期が到来している。

わが国の医療を守るには、医療に投下される総資源、つまり医療費とマンパワーを増大する他にはない。しかし、その増大が国民の大多数にむしろ歓迎されるには、医療が信頼されていることが必要だ。医療に対する信頼がなければ、国民の方から見ると、医療にそれだけ支出するという気持ちも湧いてこない。

医療は患者の求めに応じて、医療というサービスを提供し、それに対する対価を受け取って成立する⁴一種のサービス業と見なすこともできる。医療の経済的側面だけを強調すれば、当然そうなるだろう。しかし、実は通常の市場の中で取引の成立するサービス業としては、どうしても成り立たない性質が医療にはある。それは人の命という、価値を計ることが難しく、値段がつけられないものを対象としていることに起因する医療の特殊性だ。人間が行うさまざまな「業」の中で、医療は人の命を直接対象として、場合によってはそれを損じてしまう可能性のある「業」だ。医療はこの五〇年間著しく進歩した。しかし依然として不完全だ。いずれの日にか死すべき我々人間の運命そのものに対しては、無力だと言っても過言ではない。したがって、医学や医療は価値が計れないほど貴重な命を対象とし、不完全の知識と技術で立ち向かうことになる⁵仕事を⁶せよ⁷理解していただく⁸きたいと思う。

それとともに、医師をはじめとする医療関係者の方でも、医療に対する信頼を高めるような努力が日々なされなければならない。医療についての情報や知識が⁹一番集積している職業的グループは医師だ。欧米の先進諸国では、医師が専門的見地から医療のあり方について提言をし、国民の選択に委ねることが、適切な医療システムの形成に必要と考えられ、またそのように医師の

組織は役割を果たしてきた。この背景には、ヨーロッパにおいて弁護士や医師が、専門職としての自律組織を形成して、専門職能集団としての責任を果たしてきた長い歴史があり、蓄積された信頼がある。専門職としての信頼を確立するためには、まず医師みずからが医療の品質保証をすることが大切だ。そのためには、医師は何をすればよいのだろうか。

医療の質に対する信頼を確立するために、手始めになすべきことは専門医制度を確立することではないかと思う。わが国の専門医制度は他の先進諸国の制度に比較すると、その理想からはほど遠い。それぞれの専門医制度は質のコントロールを目標としているが、量のコントロールは考えていない。それぞれの専門分野にどれだけの専門医が必要かを検討する機構はどこにもない。

専門医の質をコントロールしながら、専門分野の症例数やその分布を配慮して専門医を全国に配置することまで考慮しなければ、高いレベルの医療は提供できない。わが国には、医師不足の問題の他に、医師が地域や専門領域において、偏って分布している偏在の問題がある。偏在を補正して、適切な分布に制御していくために、多くの国で役に立っているのは専門医制度だ。ところが、わが国の専門医制度は医師の専門分野ごとの数のコントロールをしていないので、偏在に対して無防備な仕組みになっている。

また、専門医の認定では「専門医試験」が重視されているが、専門医を育てる教育機関の認証評価は十分とは言えない。教育内容についても改善が必要だ。例えば、高齢社会を迎えるわが国では、専門医も総合的な診療能力を修得することが望ましい。ところが、全体として専門医に求められる統一規格のようなものは存在しないため、それぞれの分野がバラバラに認定を行っているのが実情だ。このような制度上の欠点を克服するために医学界として努力が行われているものの、実現にはなお時間を必要としている。ドイツの専門医制度は一九一〇年代に、米国のそれは一九二〇年代に始まり、長い年月をかけて形成されてきたものだ。したがって、わが国においても拙速をもって制度をゆがめることは避ける必要があるものの、医療崩壊が叫ばれ、医療への信頼が揺らいでいる今 C、本格的専門医制度への改革を始めるべき時期だ。

安心して生活していける社会であるためには、医療の基盤が安定していることが必須だ。そのためには、諸外国の失敗例をよく観察し、わが国の実情に合った改革をしていく他はない。その時に、医療に対する資源、すなわち医療費とマンパワーを供給

することが必要だ。また、資源を供給することに社会が納得し、合意するためには、医療に対する理解があり、医療に信頼が集まっていることが、これまで以上に重要となる。このためには **D** 関係者も努力が必要だと思う。

(桐野高明「医療を守る」による)

問一 傍線部1「そのことは、ある意味では理解できる」とあるが、どのような観点から「理解できる」と考えているか。次のア～オから最適なものを選び、記号で答えよ。

ア わが国が経済的活力を阻害する問題を放置してきたということとの比較において。

イ わが国が経済において活力を保持しているように見えたということとの比較において。

ウ わが国は経済的活力への過信を反省する度量をもっていたということとの比較において。

エ わが国が経済に関して先進国とはいえないような状態であったということとの比較において。

オ わが国では経済的活力を阻害するものがまったくみあたらないということとの比較において。

問二 空欄 **A** に最適な語を次のア～オから選び、記号で答えよ。

ア 旗色

イ 肌色

ウ 風色

エ 顔色

オ 毛色

問三 傍線部2「医療が活性化し医療費が増大すると、必ず経済の活力が失われる」とあるが、このような主張は日本のどのような状況を踏まえてなされているのか。次のア～オから最適なものを選び、記号で答えよ。

ア 日本は医療費の増大を政府の歳入によってまかなうことができる状況にあるため。

イ 日本は医療費増大の解決のために、国民が税負担の増加を容認する状況にあるため。

ウ 日本は医療費の増大により歳出の割合が大きくなり過ぎ、経済の活力が失われそうな状況にあるため。

エ 日本は政府の歳入をはるかに越えた医療費増大を抑制できない状況にあるため。

オ 日本は経済的活力が保持されており、医療費の増大によって先進国病に陥ることなど考えられない状況にあるため。

問四 傍線部3「国民的なコンセンサスの形成が喫緊の課題だ」とあるが、「国民的なコンセンサスの形成」のためにはどのようなことが必要だと考えられているか。次のア〜オから最適なものを選び、記号で答えよ。

ア 経済的条件によつて差が出ないように、医療のレベルを低い基準に設定すること。

イ 医療は経済的な側面からだけ考えることができなないので、経済的破綻はたを恐れずに行うこと。

ウ 医療が費用の増大によつて壊滅状態にならないように、適度な歳出におさえるようにすること。

エ 医療の質が金銭的な負担に見合うように保証されることで、経済的に信頼されるものとする。

オ 富裕層と非富裕層との間に著しい格差が生じない状態が保たれている上で、医療自体も信頼されるものであること。

問五 空欄 B に最適な語を次のア〜オから選び、記号で答えよ。

ア 展望

イ 経済

ウ 構築

エ 負荷

オ 資本

問六 傍線部4「二種のサービス業」とあるが、一般的な「サービス業」とはどのようなものであると考えられているか。次のア〜オから最適なものを選び、記号で答えよ。

ア ささまざまな人間的な「業」を越えたサービスを提供するもの。

イ 価値に見合う値段をつけることのできるサービスを提供するもの。

ウ 市場取引の中だけで成立するものではないサービスを提供するもの。

エ 金銭的なやり取りではなく、奉仕の心をもつてサービスを提供するもの。

オ 価値が不明であっても対価が支払われることを前提にサービスを提供するもの。

問七 傍線部5「ぜひ理解していただきたいと思う」とあるが、筆者がこのような希望を述べる理由として最適なものを、次のア〜オから選び、記号で答えよ。

ア 医療は貴重な命を対象としており、それに携わる医師は尊い存在であるから。

イ 医療はサービス業ではなく、あくまでも医師の奉仕の心によるものであるから。

ウ 医療は不完全なもので、最善を尽くしても対価に見合う結果とならない場合があるから。

エ 医療は信頼されていることが前提で提供されるもので、不信感を持たれていると困惑するから。

オ 医療は最終的には経済的な条件の中でしか行えないもので、完璧なものを提供できるか不明であるから。

問八 傍線部6「医療についての情報や知識が二番集積している職業的グループは医師だ」とあるが、どうしてこのようなことをわざわざ主張しているのか。次のア〜オから最適なものを選び、記号で答えよ。

ア 医師以外の者が医療についてあれこれ口を挟むのは不適当という考えから。

イ 医師はいまだ自律組織を形成していないので、このような認識をもつ必要があるという考えから。

ウ 医師は医療の経済的側面を含め、医療全般のあり方を主導的に提言すべき立場にあるという考えから。

エ 医師の専門的見地こそが絶対的なもので、それ以外のものはとるにたらないものであるという考えから。

オ 医師はサービス業を越えた存在であり、その無私の立場が医療をよくするために必要であるという考えから。

問九 傍線部7「量のコントロール」とは具体的にどのようなことを言っているのか。次のア～オから最適なものを選び、記号で答えよ。

- ア 全国的に配置する専門医の絶対数の増大。
- イ 専門分野、また地域ごとの専門医の人数割合の適切化。
- ウ 国の経済的負担を軽減するための専門医の人数の抑制。
- エ 専門医の価値を高める目的での専門分野ごとの人数の抑制。
- オ 医師不足を解決する手段としての個々の専門医の能力増進。

問十 傍線部8「専門医を育てる教育機関の認証評価は十分とは言えない」とあるが、どのような点で「十分とは言えない」と考えられているか。次のア～オから最適なものを選び、記号で答えよ。

- ア 専門分野によって、診療能力認定の難易度がバラバラであるため。
- イ 医療費とマンパワーを供給する医療制度改革にはかり目を向けているため。
- ウ 日本における専門医の認証評価はまだ始まったばかりで、伝統的な信頼を勝ち得ていないため。
- エ 専門医を認定する教育機関が公的なものでなく、それぞれが利害関係のある評価基準を採用しているため。
- オ どの分野の専門医でも修得する必要がある総合的な診療能力を統一的に認定することが行われていないため。

問十一 空欄 C に最適な語を次のア～オから選び、記号で答えよ。

- アこそ
- イだけ
- ウより
- エほど
- オから

問十二 空欄 D に最適な語を次のア～オから選び、記号で答えよ。

- ア社会
- イ政府
- ウ経済
- エ医療
- オ法曹

問十三 二重傍線部a「ジョウセイ」を漢字で記せ。

二 次の文章は、江戸時代の儒学者で書家の細井広沢（本名、知徳）が、書道について論じた『観鷺百譚』の一節である。これを読んで、後の問に答えよ。

先年、相剣の家（本阿弥）に会しけるに、その兄人、光悦がことを問ひければ、言ふやう、「悦は、近衛殿（応山公）に侍りて、筆法を学び奉りけり。いかなることにか。後は御勘当を蒙りけるとかや。また、悦が所へ来る者告げて言ふ、『尊円親王の御硯箱、今は紺かきの彩色の具入る物になりてあり』と知らせけり。光悦、行きてその由来を尋ねけるに、『実事なれば、買ひ求めて秘蔵しけるを、何人か申したりけん、仙院（後水尾院）聞こしめして、奉るべきになりて、献し奉りぬ』と語り侍る。さて、『その箱のうつしありや』と問ひければ、『至尊へ奉るものは、家にかたを残さぬこと』と答ふ。さる古式を知らざりしこと、恥づかしくて黙し侍りぬ。世に光悦がたといふ硯箱あり、もしやその面影ならんか。」

ある人言ふ、「光悦、殿下へ参入止み侍りしことは、悦が学才無きことを、殿下毎々仰せありしに、ある時清水寺へ御詣でありしに、悦が書きたる三十六人歌合に喜撰の詠を『鹿ぞすむ』と書きたるを御覧ありて、大いに笑はせおはしまして、『これは彼が恥辱なり、下ろせ』と仰せて、すなはち下ろし破らせ給ひけるとかや。これより慚愧甚だしく、また怨望のことはをも出しけると、佞人など申しけるによりて、その後は召さざりけるとなり。」

これをまたある人の、「光悦が手跡、殿下にまさりたるによりて、忌みおぼしめしけると言ふ。昔、梁帝、王僧虔が書才を忌み給ひけんために言ふことあれども、かたもなきことなり。悦が門流の人の言ふなるべし。

知慎思へり、筆法を好む人、学才に乏しきは、惜しむべきことなり。文字は学の花なり。もとより道を載せて、古今に伝ふるものなれば、字画さへに分明なれば道において害なし。されども文字はじまりて後は、世とともに、美悪の論ありて、能手にて書きたるは、その物も尊く見え、悪しき手にて書きたるは、よき詩歌も悪しく見ゆるやうにあることなり。学才なき人は、古人の筆説を読みても徹底薄く、または義理をも取りそこなひて、奥義において、誤りもあることなり。況んや、「しか」を「鹿」と書

くやうのこともありては、恥辱とも言ふべし。〔筆法は別伝あり、学才によらず〕といふは、非を知らざる罪人なるべし。ならんほどは、学文して花実ならび進まんこそよかる。A。ことに人品卑劣にしては、義之・献之にまさりても、その書、取るに足らぬことなるべし。羌堯章きやうぎやう云く、「二に人品高かるべし」と。名言なり。知慎、常にこれを言ふところなり。

*相劍さうけん二刀劍の鑑定・研磨。本阿弥家はこれを家業とした。

*光悦こうえつ二本阿弥光悦。安土桃山時代から江戸時代初期の書家・工芸家。「悦」も同じ。

*近衛殿ちかゑのどの二江戸時代初期の公家・近衛信尋。後陽成天皇の皇子で、近衛家を継ぎ閑白となる。優れた書を残す。

*尊円親王そんゑんしんわう二南北朝時代の諸芸に秀でた知識人。優れた書は多くの追隨者を生んだ。

*紺かきの彩色の具こんかきのしき二藍で布地を紺に染める職人の、着色のための道具。*仙院せんゐん二上皇。

*三十六人歌合さんじゅうろくにんかご二奈良・平安時代の優れた歌人三十六人の秀歌を集めたもの。

*喜撰の詠きせんのかい二平安時代の歌人・喜撰の秀歌に「わが庵は都の辰巳しかぞ住む世をうぢ山と人はいふなり」〔古今集〕。

*佞人ねいじん二口先がうまく、心のねじけた人。*梁帝りやうてい二六世紀前半の中国の王朝・梁の皇帝。*義理ぎり二ものの筋道。道理。

*義之・献之ぎしけんし二四世紀の中国の貴族の王羲之・献之父子。羲之は書聖と仰がれた。*羌堯章きやうぎやう二中国の宋代の知識人。

問一 傍線部1「侍りて」の意味として最適なものをお選び、記号で答えよ。

ア 取り入って

イ 警護を任されて

ウ 気に入られて

エ お仕えして

オ 期待されて

問二 傍線部2「いかなることにか」の後に省略されていることは、平仮名三字で書け。

問三 傍線部3「実事なれば、買ひ求めて……奉るべきになりて、献し奉りぬ」の内容として最適なものを次のア〜オから選び、記号で答えよ。

ア 商売に関わることなので無理して硯箱を購入したところ、上皇に伝わり染物の注文を受けることになった。
イ 秘密にすべきことなので硯箱を隠しておいたところ、告げ口する者がいて宮廷から罰を受けた。

ウ 本当のことなので硯箱を買って求めて大切にしていたところ、上皇に伝わり献上せざるをえなくなった。

エ 本物とは知らず硯箱を買って求めて大切にしていたところ、価値を知る者が上皇に購入するように勧めた。
オ 驚くべきことに、この硯箱に気づいた者がいたようで、上皇に伝わり恩賞を賜り、その御礼に献上した。

問四 傍線部4「さる古式」とは何を指しているか。最適なものを次のア〜オから選び、記号で答えよ。

ア 天皇や摂政・関白に物を献上する場合には、間に人を立てる必要があるという格式はつた約束事。

イ 天皇や上皇に献上する物は、家にその写しを残さないという古いしきたり。

ウ 天皇や上皇に献上する物については、一切躊躇してはならないという古代からの厳しい規則。

エ 天皇や上皇に献上する物については、そのための負債があつてはならないという古風な考え。

オ 神や仏に物を捧げる時は、家にその一部を残してはいけないという古くからの決まり。

問五 傍線部5「恥づかしくて黙し侍りぬ」の主語は誰か。最適なものを次のア〜オから選び、記号で答えよ。

ア 光悦

イ 近衛殿

ウ 悦が所へ来る者

エ 紺かき

オ 何人

問六 傍線部6「もしやその面影ならんか」の訳として最適なものを次のア〜オから選び、記号で答えよ。

ア もしもそれが尊円親王の硯箱の姿を伝えるものであったら、許し難い。

イ もしもそれが硯箱に執心し続けた光悦の心を表すものならば、痛ましい。

ウ もしかしたら、硯箱に執着した上皇のご様子を伝えるものかもしれない。

エ もしかしたら、尊円親王や後水尾院を偲ぶよすがであるかもしれない。

オ もしかしたら、尊円親王の硯箱の姿を伝えるものかもしれない。

問七 傍線部7「大いに笑はせおはしまして」とあるが、近衛殿はなぜ笑ったのか。その説明として最適なものを次のア〜オから選び、記号で答えよ。

ア 清水寺には鹿はいないので、光悦が「鹿ぞすむ」と書いたことがおかしく思われたから。

イ 光悦の「鹿ぞすむ」の書が、三十六人歌合の中で特に優れており、大いに満足したから。

ウ 光悦の「鹿ぞすむ」の書が、三十六人歌合の中でも際立つて稚拙であったから。

エ 光悦の「鹿ぞすむ」という書が、喜撰の秀歌の歌句の初歩的な誤解によるものであったから。

オ 光悦の「鹿ぞすむ」の筆法が、近衛殿らの常識をはるかに超えた、不可解なものであったから。

問八 傍線部8「怨望のことばをも出しける」の訳として最適なものを次のア〜オから選び、記号で答えよ。

ア 心のねじけた人は、光悦にうらみことも述べた。

イ 光悦は願いを直接近衛殿に伝えることもした。

ウ 光悦はうらみごと口に出した。

エ 近衛殿は光悦へのねたみもことばにした。

オ 近衛殿は光悦に学問に励むようにことばをかけた。

問九 傍線部9「かたもなきことなり」の意味として最適なものを、次のア～オから選び、記号で答えよ。

ア 賛成できないことである。

イ 根拠のないことである。

ウ よくあることである。

エ もつともなことである。

オ 解決不能なことである。

問十 傍線部10「筆法は別伝あり、学才によらず」といふは、非を知らざる罪人なるべし」とあるが、筆者細井広沢はどのようなことを主張しているのか。その説明として最適なものを次のア～オから選び、記号で答えよ。

ア 細井広沢は、書法には特別の伝授があり学問の才能とは関係ないとする考え方を厳しく批判し、学問の重要性を強調している。

イ 細井広沢は、書道は学問とは別の独自の価値を持つものとする考え方に賛成し、書道に専心できない人を罪人と非難している。

ウ 細井広沢は、書道の技量と学問の才能は別であるとする考え方を認めて、これらを近づけようと無駄な努力をしている人々を哀れんでいる。

エ 細井広沢は、書法には、学問によつては習得できない奥義があるという考え方に疑問を持ち、それが真実か先人の書物で確かめようと決意している。

オ 細井広沢は、学問の才能はかえつて書道を損なうとする考え方を激しく糾弾し、学問がすべてであることを熱狂的に説いている。

問十一 空欄 A にふさわしいように、助動詞「べし」を正しい活用形にして記せ。



